

トップ
ヤクルト 勝8敗2分
広島 00
ヤクルト 10
▽勝 ア床
▽敗

【評】勝打点
島戦で左前打や
の適計6得目。
7勝10安打
敗目。

DeNA 18
敗1分、1
巨人 22
DeNA 22
▽勝 宮伊中
▽敗 本塁打

【評】勝3死失3
て3差を無には
ム七前回打人回
巨人 3

田中 2
通算人の板へて
米るかの登日れ
の26視され(神宮)
する。

プロ野球で広がる推し活

プロ野球で今季導入された交流サイト（SNS）への投稿ルールが9月から緩和された。他競技に比べて制限が多く、専門家に「時代遅れ」とも指摘された当初規定が見直され、プレー中の動画投稿など条件付きで可能になった。利用者からは歓迎の声が上がる。

7日、埼玉県所沢市のベルーナドームで行われた西武ローテ。観客席で多くのカメラがグラウンドに向けられた。その一人、椿千恵さんのお目当てはロッテの横山陸人投手。規定変更について「他の方が撮った写真で、推しの選手がこんな表情をするんだと知るこ

プレー写真、動画 SNS投稿解禁

プロ野球のSNS投稿ルール改定

	試合中の投稿	試合後の投稿
動画	×	60秒以内に1回
写真	140秒以内	140秒以内
グラウンド内	140秒以内	140秒以内
グラウンド外	140秒以内	140秒以内

※黄色は主な緩和箇所

とができる」と喜んだ。当初は場内で撮影したプレー中の選手の写真、動画の投稿は一切禁止だった。写真は全面的に許可され、動画も60秒以内などの条件を守れば試合終了後に可能に。日本野球機構（NPB）の中村勝彦事務局長は「多様化する観戦の楽しみ方の一つ。生かしていきたい」と転換理由を語った。

スポーツマネジメントに詳しい大阪成蹊大の岡田功経営学部長は「SNSを規制するのはファンの広がりから規制するのはファンの」と指摘する。バスケットボールのBリーグは一定条件の下、試合中の撮影動画などの投稿を強く推奨。認知度アップに成功している。

緩和後、野球関連の投稿は秩序を保ちながら徐々に増加した印象だ。本塁打を量産するヤクルトの村上宗隆内野手の豪快な打撃がファンの間で拡散したことも。共有の輪が広がることで「潜在的な消費者に届き、チケットやグッズ購入につながる。どんどん推し活」をしてもらいたい」と岡田学部長。熱が冷めないうちに話題のプレーをファンが共有できることの意味は小さくない。球界も新たな一歩を踏み出した。

西武西口監督 2季目続投へ

この日、敗れてクライマックスシリーズ進出の可能性が消滅した。ここまではの活躍で一時は上位を争

域展開（地域移行）をはじめとする政策に取り組む他、宇宙航空研究開発機構（JAXA）との連携、独自色も出し「何があってもやり抜こう」と思い、覚を決めてこの職に専念し

ソフトバンク

打点	安打	振球	本打率
20	10	2	263
10	10	1	301
10	10	1	250
10	10	1	272
10	10	1	221
10	10	1	197
10	10	1	294
10	10	1	244
10	10	1	300
10	10	1	264
10	10	1	226
10	10	1	272

日本ハム

打点	安打	振球	本打率
5	5	0	255
5	5	0	273
5	5	0	236
5	5	0	279
5	5	0	304
5	5	0	267
5	5	0	261
5	5	0	251
5	5	0	258
5	5	0	241
5	5	0	188

巨人

打点	安打	振球	本打率
5	0	0	266
5	0	0	259
5	0	0	299
5	0	0	318
5	0	0	290
5	0	0	238
5	0	0	136
5	0	0	242
5	0	0	208
5	0	0	215

広島

打点	安打	振球	本打率
3	1	0	277
3	1	0	263
3	1	0	500
3	1	0	500
3	1	0	279
3	1	0	246
3	1	0	200
3	1	0	200
3	1	0	200
3	1	0	200